

科目名称	アロマセラピー
授業コード	BH292
英語名称	Aroma therapy 2
学期	2024年度後期
単位	2.0
担当教員	二神 弘子
記入不要 ナンバリングコード	
授業の概要	アロマセラピーは、精油の持つ香りと効能によって、健康の維持・増進効果を期待する補完代替療法のひとつである。正しい知識をもって活用すれば、心や身体に起こった不調の改善に役立てることができる。本講義では、科学的に解明されている精油の効能、アロマセラピーが心身に及ぼす影響、および実践活用のための知識と技術について学ぶ。アロマセラピーの内容を基礎として、アロマセラピーの応用実践として、アロマオイルを利用した身体各部のケアについての知識と技術を身につける。
科目に関連する実務経験と授業への活用	アロマセラピーが心身に及ぼす影響や実践方法について、柔道整復師、あんまマッサージ指圧師であり、アロマセラピーの実務経験のある教員が講義する。
到達目標	<p>・ディプロマ・ポリシーに掲げる「柔道整復師として、他者と協同して問題を解決するための能力を身につけている」、「人々の健康および柔道整復の発展に貢献しうる主体的な学修能力を身につけている」ことを実現するために、本科目ではカリキュラム・ポリシーに掲げる「より広い保健医療福祉分野の知識・技術を学ぶ」ことを目的とする。</p> <p>具体的には</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーの実践的な応用として、アロマオイルを利用した手技技術を習得する。</li> <li>・補完代替療法としてのアロマセラピーについて理解し、臨床に応用することができる。</li> </ul>
計画・内容	<ol style="list-style-type: none"> <li>1) ガイダンス</li> <li>2) アロマセラピーについて、演習(1)生活にアロマをとりいれよう1</li> <li>3) オイルマッサージの原則、演習(2)使用目的に合った精油を選ぼう&lt;身体ケア&gt;</li> <li>4) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：下腿後面(1)</li> <li>5) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：下腿後面(2)</li> <li>6) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：下肢前面(1)</li> <li>7) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：下肢前面(2)</li> <li>8) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：体幹(1)</li> <li>9) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：体幹(2)</li> <li>10) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：体幹(3)</li> <li>11) アロマオイルケア実技実習、心身に及ぼす影響についての実習：体幹(4)</li> <li>12) 演習(3)生活にアロマをとりいれよう2(1)</li> <li>13) 演習(3)生活にアロマをとりいれよう2(2)</li> <li>14) アロマオイルケア実技実習：総合実技(1)</li> <li>15) アロマオイルケア実技実習：総合実技(2)、まとめ</li> </ol>

授業の進め方	<p>講義と演習、および実技実習</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・講義は、パワーポイントで資料を提示しながら行う。</li> <li>・演習や実習は、実際にエッセンシャルオイルを使用して、アロマセラピーの具体的な方法について学ぶ。また、精油がヒトの心と身体に及ぼす影響について、自律神経系の指標を用いて実験的に体験することで理解を深める。</li> <li>・演習、実習では、用具の準備、片づけ、清掃を全員で行う。</li> </ul>
能動的な学びの実施	<ul style="list-style-type: none"> <li>・アロマセラピーを体験して心身への影響を理解する。</li> <li>・ほとんどの講義が演習、実技で構成されているので、自らが施術者となりアロマセラピーを実践する。積極的な授業態度が期待される。</li> </ul>
授業時間外の学修	<p>予習：講義の内容またはキーワードに関して基本的な理解を得る。  復習：配布資料や授業中のメモをまとめる。アロマセラピーを実践する。  合計で60時間以上の学修を行う。</p>
教科書・参考書	<p>教科書：特に指定しない。資料を配布する。アロマセラピー 1 の配布資料も使用する。  参考書：アロマセラピー検定 公式テキスト1・2級</p>
成績評価方法と基準	<p>成績評価基準：到達目標に達しているかどうか  成績評価方法：</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・下肢実技50%（教員による評価30%、実技の取り組みに関する自己評価20%）</li> <li>・体幹実技50%（教員による評価30%、実技の取り組みに関する自己評価20%）</li> </ul> <p>評価の条件は全体の4/5以上の出席とする。  ガイダンスに沿った準備のないもの、受講態度の不良なものは受講を認めず欠席とする。</p>
課題等に対するフィードバック	<ul style="list-style-type: none"> <li>・講義中に提出された課題レポートはコメントを付して返却する他、授業に反映させる。</li> </ul>
オフィスアワー	<p>Campus Square参照</p>
留意事項	<ul style="list-style-type: none"> <li>・原則として、アロマセラピー 1 の単位取得を履修条件とする。</li> <li>・1回目のガイダンスに必ず出席すること。無断のガイダンス欠席は履修を認めない場合がある。</li> <li>・演習・実習の服装やタオル等は各自で準備する。それらについては1回目のガイダンスで説明する。ガイダンスに沿った準備がない場合は当日の受講を認めない。</li> <li>・身体各部のケアについては解剖学（筋・骨格）の知識が必須となる。</li> <li>・演習・実習では衛生上の観点から爪を切ってくること。</li> <li>・シラバスの変更については、その都度講義内で連絡する。</li> <li>・アロマセラピーの応用実技を中心とした講義となるので、全ての講義を受講することが望ましい。</li> <li>・感染症の状況により実技の一部変更またはグループ編成を行う場合がある。実技実施が困難な場合は開講を見合わせることもある。</li> </ul>
非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	<p>授業の進め方  オンライン授業および課題提出によって行う。  感染症の状況により実技実施が困難な場合は開講を見合わせることもある。</p> <p>成績評価方法と基準  成績評価基準：到達目標に達しているかどうか  成績評価方法：</p>

非対面授業となった場合の「授業の進め方」および「成績評価方法と基準」	・課題提出50%、期末試験50% 評価の条件は全体の4/5以上の出席とする。
------------------------------------	---